

多摩御陵



▲ 多摩御陵への外参道（ケヤキ並木）

天皇のお墓のことを御陵（陵・天皇陵）といいます。第1代から第122代までの御陵は、近畿地方を中心に造られていましたが、その後の第123、124代の大正天皇、昭和天皇の御陵は関東地方・東京都八王子市に造られました。

大正天皇陵の場所が八王子市に決まると、そこへ行くために鉄道や橋も造られました。それでは、どのようなものが造られたのでしょうか？これからみていくことにしましょう。

多摩御陵とは？

大正 15 年（1926）12 月 25 日に大正天皇が 47 歳で亡くなりました。宮内省（現在の宮内庁）は、天皇陵を東京府南多摩郡横山村、浅川村、元八王子村（現在の東京都八王子市）の 3 つの村にわたる地域に造ることを決めました。名称は武蔵陵墓地といます。大正天皇陵は、この武蔵陵墓地の一角である現在の長房町にあたる横山村大字下長房字竜ヶ谷戸に造られました。大正天皇陵の名称は多摩陵、面積は 467,000m²、形式は上円下方墳です。

この場所のことを多摩御陵と呼んでいる人も多いと思いますが、正確には山のかなり広い一帯は武蔵陵墓地といい、多摩御陵とは大正天皇の御陵である多摩陵を指します。

昭和 2 年（1927）、完成した多摩御陵に大正天皇の御遺体が移されました。

御陵とともに造られたもの

南浅川橋

現在南浅川橋のある場所には当時橋はありませんでしたが、御陵ができることになり、急いで架けられました。最初は木製でしたが、昭和 11 年（1936）には鉄筋コンクリートに造り替えられました。長さは 53.3m、幅は 20m あります。

南浅川橋 ▶



いちよう並木とケヤキ並木

昭和 4 年、多摩御陵が出来たのを記念して道路が改修されました。このとき、いちようが道に沿って植えられました。甲州街道の追分から高尾駅までの 4.2 km、約 760 本にわたる並木は日本の三大並木の一つともいわれています。毎年 11 月にはこのいちようの下で、お祭りが催されています。昭和 39 年（1964）には市の天然記念物に、昭和 51 年（1976）には「市の木」に選ばれました。

ケヤキは大正天皇が多摩御陵に移された後、植えられました。武蔵陵墓地への参道に 160 本のケヤキが植えられ、きれいな並木を描いています。

どちらの並木も、平成 13 年（2001）に八王子八十八景に選ばれています。

御陵線

多摩御陵ができると、全国からたくさんの方が



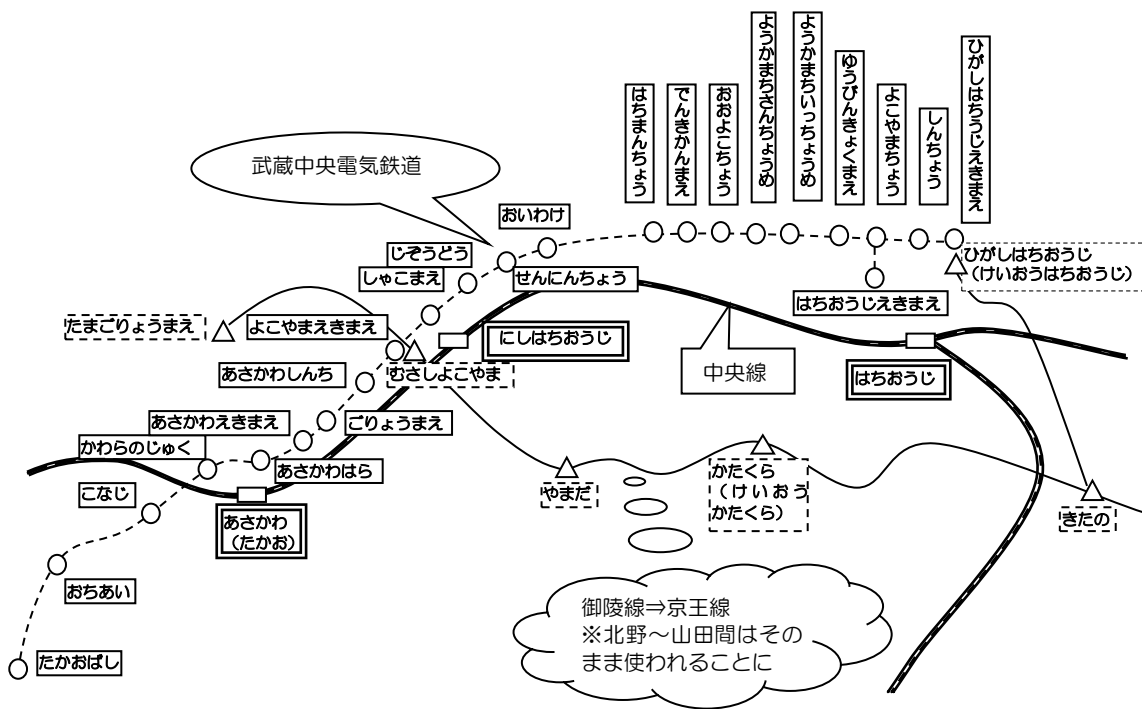
▲ 御陵線の橋脚

参拝にやってきました。当時は、御陵前に着く鉄道はありませんでした。一番近くの駅でも、中央線では浅川駅（現在の高尾駅）か八王子駅、京王線では東八王子駅（200m北野よりに移転して現在の京王八王子駅になった）でした。昭和6年（1931）、京王は御陵線（正式には京王電軌御陵線）を開通させました。区間は北野―片倉―山田―武蔵横山―御陵前で、長さは約6.4kmありました。

この鉄道の開通は参拝者にとって便利なものでしたが、他の鉄道会社との争いや戦争などの影響により、昭和20年（1945）に廃止されてしまいました。御陵前駅も、八王子空襲の時に焼けてなくなってしまいました。

廃止されてしまった御陵線ですが、京王は昭和42年（1967）に北野―山田間の線路を再び使って、高尾山へと続く路線・京王高尾線に生まれ変わらせました。

路線だけでなく、写真のような御陵線のなごりを、今でもまちの中で見かけることができます。



▲ 御陵線路線図

武蔵陵墓地にあるほかの御陵

武蔵陵墓地には、大正天皇の多摩陵以外にも御陵が3基あります。一つ目は、昭和26（1951）年5月17日に67歳で亡くなった大正天皇の後・貞明皇后の多摩東陵、二つ目は、昭和64（1989）年1月7日に87歳で亡くなった昭和天皇の武蔵野陵、三つ目は、平成12（2000）年6月16日に97歳で亡くなった昭和天皇の後・香淳皇后の武蔵野東陵です。

多摩御陵とその周辺は天皇陵というだけではなく、八王子八十八景に選ばれた景勝の地でもあります。景色の良いところを見ながら、今でも見つけることができる御陵線のなごりを探しに、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

調べてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次にあげる参考文献は、図書館にある本の中で、小・中学生のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。

- *最初にかいてある数字は、本の背表紙についている分類（ラベル）番号です。
- *☆印のついているものは、特に小学生におすすめのものです。

- ☆新聞 読売新聞（夕刊）平成12年（2000）9月2日
天皇陵が「子どものニュースウィークリー」に特集されている。
- ☆21-20 長房は昔はどんなところ？ 長房小学校／編
昔の長房のことをやさしい文章で説明している。
- 21-20 陵域近く生きて 塚本祐子／著 1995年
武蔵陵墓地、その周辺の歴史など、詳しく書かれている。
- 21-20 八王子山田町わが町 清水正水／著 1985年
山田町に関わる歴史や出来事について書かれている。
- ☆21-20 こどもはちおうじじてん 八王子市生涯学習センター図書館 児童担当／編 2000年
小学生・中学生用に、八王子について調べやすい形で編集したもの。
- ☆21-29 郷土みてある記 八王子市生活文化部広報課／編 1995年
小学校の先生が、八王子の歴史や関係の深い人物や動・植物、事柄を小学生にもわかるようにやさしく解説したもの。
- 21-68 八王子のりもの百年史 清水正之／著 1989年
八王子にあったのりものの歴史について、詳しく書かれている。
- 10-68 多摩幻の鉄道 廃線跡を行く 山田俊明／著 1999年
今ではなくなってしまった鉄道を詳しく紹介している。
- 21-74 八王子八十八景 八王子市都市計画室／編 2002年
八王子の景勝の地がカラー写真で紹介されている。巻末に地図あり。八王子八十八景は、インターネットでも、みることができます。
<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kanko/hachijuhachi/index.html>

多摩御陵

参考文献を所蔵している図書館

※2015年12月現在

表の中の○は貸出もできるもので、△は見たり、コピーしたりできます

タイトル	所蔵図書館					
	中央	生涯	南大沢	川口	北野	みなみ野
<新聞> 読売新聞(夕刊) 平成12年(2000)9月2日	△	△		△		
長房は昔はどんなところ?	△					
陵城近く生きて	△					
八王子山田町わが町	○	○	○	△		
こどもはちおうじじてん	△	△	△	△		
郷土みてある記	△	△	△	△		
八王子のりもの百年史	○	△	○	△		
多摩幻の鉄道廃線跡を行く	○	△				
八王子八十八景	○	○	△	△	△	